

秋季年末の単組要求活動にとりくもう 学習し、職場の要求を改善へつなげよう



【県本部労働学校】

■13日第1講義では「25人事院勧告」の特徴と要求のポイントについて学びました。民間比較企業規模100人以上への見直し、通勤手当の改善と駐車場等利用部分の新設、国の非常勤職員の人勧以外での改善、「人事行政諮問会議最終提言」を具体化する「報告・勧告」などの課題の説明があり「生計費原則に立ち返り賃金制度を学び、制度の悪い点は怒りに、前進面は確信にして勝ち取ろう」と呼びかけました。

■13日第2講義では、「県市町村職員共済組合の短期等給付と保険・職員互助会」について、各制度の概要説明と事例をもとにした給付内容について学びました。高額療養費、休業給付、人間ドック等利用助成などの制度と給付事例なども学び、あわせて、病気休暇使用の際の成績率・期間率との関係なども確認しました。講義後に参加者で交流会を行いました。

■14日第3講義では「県下自治体の財政状況について」、まず小淵先生から

県本部は9月13・14日、「2025労働学校」を開催し、2日間のべ11単組ほか22人が参加。第1講義は松橋峻介・本部中央執行委員（web参加）、第2講義は久保竜児・県市町村職員共済職員職員側代表理事と森賀県本部委員長、第3講義は小淵港・県自治体問題研究所理事長／愛媛大学名誉教授（財政学）に講義いただきました。

外での改善、「人事行政諮問会議最終提言」を具体化する「報告・勧告」などの課題の説明があり「生計費原則に立ち返り賃金制度を学び、制度の悪い点は怒りに、前進面は確信にして勝ち取ろう」と呼びかけました。

■13日第2講義では、「県市町村職員共済組合の短期等給付と保険・職員互助会」について、各制度の概要説明と事例をもとにした給付内容について学びました。高額療養費、休業給付、人間ドック等利用助成などの制度と給付事例なども学び、あわせて、病気休暇使用の際の成績率・期間率との関係なども確認しました。講義後に参加者で交流会を行いました。

■14日第3講義では「県下自治体の財政状況について」、まず小淵先生から



人勧、市町村共済・互助会制度、 財政等学び、改善にいかそう

《愛媛労連定期大会》

職場の声を集め、要求し交渉し、 行動参加を広げ、仲間を増やそう

9月6日、松山市内での「愛媛労連第37回定期大会」に70人（自治労連関係12単組18人）が参加。「職場・地域から労働者が声をあげ、大幅賃上げ・働きやすい職場をつくろう！」と提起された運動方針案について10人が討論に参加。自治労連からは、井関代議員（松山）が議長団となり、3人が発言（以下骨子）しました。和気代議員（西予）「市立病院等の民営化後5カ月、現場では様々な弊害が出ている。この2年余り全県の多くの支援で、組合員は前向きな気持ちになれ、大きな財産を得た」。堀川代議員（県本部）「全労連四国青年部の11/22～23交流集会（伊予市）に参加を。青年がチカラを発揮することが、組織のチカラになっていく。愛媛最賃1,033円が答申されたが、生計費とまだまだ差がある」。カ石代議員（内子）「交流を広げ組合員を増やす。学習し何を要求するかしっかり学び、要求活動につなげる。要求書を提出ししっかり交渉する。この原点で自治労連の団結と結集を強めたい」。大会は「活動方針案・予算案」等を探択し、新役員を選出。副議長に森賀県本部委員長が再任されました。

《自治労連全国大会》

西予医療介護労組 「新規加入承認」受け 「決意と感謝」発言

■小西西予医療介護労組委員長発言（抜粋要約）
※発言の前半「2年余の運動の経過」を報告し、後半「今後の決意と感謝」発言。4月以降、市・協会・病院現場の連携がうまくいっておらず、後手後手の対応が続いている。このように現場が混乱しているなか、西予市

職員労働組合から組織的に独立して「西予医療介護職員労働組合」として新たなスタートを切り、「民営化」後の職場で頑張っている「職員の声」を小さなものでも拾い上げ、西予市と協会に訴え続ける気持ちで、新たに活動を開始。協会職員の給与・労働条件について「西予市の財政難により現給保障期間が減らされるのではないかと」という不安の声もあり、「職場の声」を拾い上げ、より良い勤務条件・職場環境を勝ち取っていく活動を粘り強く続けます。そして「西予市の地域医療福祉の問題・課題」を、市民も職員にとってもよりよい方向へすすめられるよう、地道にとりくんでいきます。最後に、西予市と聞いて『平成30年7月豪雨災害』を思い出していた方がおられるかもしれません。あの時の全国の自治労連の仲間の皆様のご厚情、ま

た民営化阻止のための全国からの反対署名、本当にありがとうございました。感謝しております。



第584号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
(組合員の承認料は組合費のなかに入っています)

日程

- 【10月】
 - 10 自治労連共済実務研修会（11・17・18日web）
 - 11 県本部拡大執行委員会
中予総支部代表者会議
労働運動交流集会2025（東京～13）
 - 13 自治労連地方組織・組織部長会議（本部）
 - 18 自治労連四国医療介護職員学習交流集会（高知）
 - 25 医療介護評議会定期総会
日本平和大会（愛知～26）
- 【11月】
 - 2 全労連介護学習交流集会
 - 9 県自治研集会（松山）
自治体病院全国交流集会（兵庫～10、web併用）
 - 6 自治労連保育・学童保育闘争推進意思統一集会・「保育大集会」
 - 17 保育政府・国会要請行動
 - 22 四国働くものの学習交流集会in愛媛（伊予～23）
 - 24 地域医療を守る運動全国交流集会（東京・web併用）

■8月23～25日にかけて自治労連は福岡県北九州市で「全国大会」を開催。8月23日事前会議（部評大会総会）、24・25日第47回定期大会に、愛媛から8単組15人が参加。定期大会では、西予医療介護職員労働組合が「新規加入組合の承認」を受け、小西陽子委員長が発言、山内佑樹県本部副委員長が「自治研のとりくみ」について発言しました。

職員労働組合から組織的に独立して「西予医療介護職員労働組合」として新たなスタートを切り、「民営化」後の職場で頑張っている「職員の声」を小さなものでも拾い上げ、西予市と協会に訴え続ける気持ちで、新たに活動を開始。協会職員の給与・労働条件について「西予市の財政難により現給保障期間が減らされるのではないかと」という不安の声もあり、「職場の声」を拾い上げ、より良い勤務条件・職場環境を勝ち取っていく活動を粘り強く続けます。そして「西予市の地域医療福祉の問題・課題」を、市民も職員にとってもよりよい方向へすすめられるよう、地道にとりくんでいきます。最後に、西予市と聞いて『平成30年7月豪雨災害』を思い出していた方がおられるかもしれません。あの時の全国の自治労連の仲間の皆様のご厚情、ま

山内県本部副委員長発言（抜粋）愛媛県本部は毎年「地方自治研究愛媛県集会」を開催し今年で66回目。昨年は「気候危機・環境問題」をテーマに、全体会シンポジウムで3人のパネリストが「持続可能な社会のために」会場も交えて意見交換しました。今年は、昨年のテーマ「環境問題」を受け「災害対応」をテーマに開催予定で、講演と職域分科会で議論を深めます。来年広島で開催の第18回地方自治研究全国集会に、この間の県自治研や単組の職場自治研の成果を持ち寄り参加することを表明します。



【新居浜】
宝探し&ビーチバレーも実施
青年部「BBQでつながろうの会」開催

新居浜市職労は8月23日、マリンパーク新居浜にて青年部企画「BBQでつながろうの会」を開催。青年部企画ですが、大人から子どもまで総勢36人、幅広い年齢層の参加で新たな交流も生まれました。「バーベキュー」は10〜16時にかけて行われ、午前と午後になよとしたゲームを企画。「宝探し」では砂浜に埋

められた百個のカプセルを探すミニゲーム。書かれた点数の合計得点で競い、小さな子ども達が活躍、最後の1個が中々見つからずみんなで大捜索。夏の海といえば「ビーチバレー」。トーナメントで優勝したのは女子チーム！おめでとうございます。真夏の屋外ならではのスポーツは最高ですが熱中症には注意。青年部では業務では経験できないイベントや組合加入して初めてでも参加しやすい企画を実施します。



【南予総支部】
南予のチカラを合わせよう！と決意
懇親会で交流も深める

南予総支部は8月21日「定期総会」を開催し6単組16人が参加。力石総支部長（内子町職）が「南予地域では、公立病院の経営形態の見直し議論や賃金カット提案など危険な側面も見せている。総支部力を合わせて乗り切っていこう」とあいさ

つ。活動・収支等報告、活動方針、予算など全ての議案が承認されました。事務局単組が宇和島市職へ移り、役員改選後のあいさつで柳川新総支部長が「久しぶりの組合役員で、一からの勉強だが、力を合わせてこの難局を乗り越えたい」と決意表明。総会後の懇親会では、より踏み込んだ話で、秋からの活動にはずみがつく交流ができました。



【東予総支部】
役割・活動・機能・体制・財政を
実状に合わせて見直し連携強化を

東予総支部は9月13日「定期総会」を開催し5単組8人が参加。活動方針で、○総支部の基本機能、①単組間の情報交換、②拠点闘争の相互支援、③東予地域の共同闘争を

発展させる、○自治労連に結集して愛媛県本部の運動方針を基調として運動をすすめるを提案し確認。具体的課題として、○定例的とりくみを見直し、より活動しやすい体制づくりをめざす、○総支部割当の役割・参加等を再確認し、分担方法を再検討、○総支部の会計使途を検討することを今後1年間で議論し方向性を出すこととしました。また「4市職の書記の学習交流の機会を」との意見があり確認しました。



【西予医療介護】
議員と意見交換会開催
実状伝え、市と議会の関与を要請

西予医療介護労組は9月18日、8／5市議会議長・副議長との懇談に続き、市議会議員との意見交換会を開催し20人（議員9・組合11）が参加。最初に小西委員長が「市・協会の連携がとれているのか、職員が大切にされているのか、現場で不安を感じている」などあい

さつ。井関前議長が「配布の『職場の現状報告書』を讀むと、市は手を離したと感ずる」などあいさつ。その後約2時間、全体質疑とグループ討議を行いました。組合参加者から現場の状況と要望を伝え、最後に河野副委員長が「今日の話し合いで理解しあえることが多くあった。今後も協力し合っていたきたい」とお礼を述べました。



【松山】
再任用の給与改善で労使協議
業務と職務給原則で改善求める

松山市職労は9月17日労使協議を実施し、組合5人・人事課4人が参加。単組重点要求「再任用職員の給与改善」について、7月団体交渉・8月労使協議経過をふまえ、人事課から「再任用職員と会計年度職員の年収較差データ」が提示され、改善の方向性を協議。組合「業

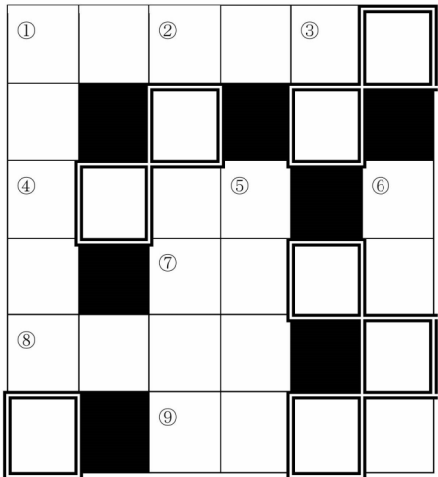
務内容が変わらない職員が再任用を理由に給与減額されるのは職務給原則に反する」「2年前から年収逆転が生じており週及改善の検討を」、人事「職の難易度を考慮し、集団体制で業務を行い指導的職務を担う職員の格付をどうするか検討中」「週及改定は困難だが今年度の給料表改定での4月週及は可能」など意見交換。11月団体交渉で労使合意をめざします。



【西予】
給与カット問題で「協定書」締結
当局提案押し返し職員負担軽減

西予市職労は9月12日「職員の給与カット提案」について、市職連と共同で「市長と両組合委員長の協定書」を締結しました。◎自治労連市職労・片山委員長、市職連・中村委員長「共同コメント」（抜粋）職員給与カット案に対し、私たちは断固反対し協議・交渉を重ね

てきました。当初の「全職員一律3％カット、3年間実施」案をアンケートなど組合員の声を集約し、当局と粘り強く交渉を重ねた結果、傾斜率の導入、実施期間3年から2年へ短縮などを引き出しました。納得はできませんが譲歩案をもって組合員の負担の可能な限りの軽減が最善との結論に至りました。今後も組合員の生活と権利を守るため、全力を尽くします。



出題者 堀川孝行

【ヨコのカギ】

- ①精神面での援助・介護
- ④カモメ科の海鳥、鳴き声が猫に似ている
- ⑦金銭を納めること
- ⑧専門的・実用的な技術・知識・手法
- ⑨南フランスを日本語でいうと

【タテのカギ】

- ①表がいつの間にか裏になる図形・環
- ②憶れるだけで、自分には手が届かないもの。植物を使って例えて
- ③今日の朝
- ⑤〇〇〇〇⇔不運／非運
- ⑥〇〇〇〇⇔文頭

マス目を埋め、二重枠の8文字で愛媛県出身の歌手にしてください。

■582号のパズルの答えは「イソガバマワレ」（急がば回れ）でした。正解は7通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。（敬称略）

越智 紀幸（今 治）
伊藤 朝美（新 居 浜）
酒井 涼香（内 子）
大石芽久美（新 居 浜）
木村 朱里（今 治）

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部パズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2（FAX、メールも可 1面題字下に記載）
【締切り】10月27日【発表】586号（11月号）

おたより
ありがとう

■毎日のあいさつが「今日も暑いね」になっています。いつになったら涼しくなるのか、もはや冬が待ち遠しいです。

（新居浜・伊藤）

■暑さ寒さも彼岸までとは言うものの、今年はそんなの関係なく暑さが続いているのではないかと心配する今日この頃です。早く涼しくなあれ！

（新居浜・藤井）

■今年は昨年ほど夏の気温が暑くないように思っているのは、猛暑日が無いからだろうか。昨年は猛暑日だらけだった気がします。

（今治・越智）

■パズルの解答を見て自分の今の状況を言われているのかとハッとしました。「イソガバマワレ」あれもしなきゃ、これもしなきゃと焦る気持ちを落ち着けて1つずつ確実に仕事をこなしていこうと思います。

（新居浜・永易）

■お気に入りの日焼け止めがあるのに新しいのが出たら試してみたくなりつい購入。毎年夏が終わるまでに教本残り反省しきり。今年はもう増やさないまま頑張りたいです。

（新居浜・西原）